



～農業振興を通じて地域社会へ貢献～



今年も田植えのシーズンが訪れ、5月9日から各地区で田植えが行われました！
写真は5月20日から田植え作業を開始した吉田翔吾さん（納内地区）です♪

→記事の詳細は4ページ

JAきたそらちでは、ホームページ/Facebook/
Instagram/YouTubeで、魅力満載の情報を
発信中です！ぜひ、ご覧ください！



ホームページ



YouTube



Facebook



Instagram



JA.KITASORACHI

～ 今月のヘッドライン ～

- きたそらち農協総代決まる 2～3
- 台湾農業部政務次長が幌加内町を視察 9
- 新連載 東山寛の「協同ノート」 12
- 地区担当体制のご紹介 14～17
- 営農懇談会 開催 18～20

きたそらち農協総代決まる

総代候補の推薦(立候補)届を5月10日で締め切り、全員無投票推薦で決まりました。

当選者は次の通りです。(敬称略)

任期…令和7年5月24日から令和10年5月23日まで(3年間)

一巳地区

45名

坂井 幸宏 増田 貴志 庄司 聡 亀上 健太 米澤 明 神尾 誠 松本 拓磨 道上 徹 荒井 秀章 荒井 和也 中野 善隆 佐々木 弘昭 和田 武丈 神尾 綾子 村澤 智弥 大井 賢太郎 野原 利文

谷内 雅俊 原田 純 寺越 知宏 野原 章弘 大森 毅英 赤川 大輔 藤川 豊 平田 拓哉 松本 晃典 沖原 貴之 橋本 和健 廣田 須田 正田 浩貴 前田 繁昭 藤原 政行 打譯 訓生 尾崎 紀幸 毛利

音江地区

43名

塩田 吉範 小畑 雅英 砂本 尚紀 野原 政幸 横井 優司 五十嵐 幸男 吉澤 義彦 清水 雄斗 東谷 陽一 爲井 新市 山本 時雄 山田 淳 近澤 信吾 坂谷 将之 林 祐輔 榎 勝洋

加賀美 匠 高崎 健太 和田 良夫 澁谷 英夫 藤澤 剛史 駒村 剛史 片岡 政幸 桐生 真史 栗野 良寛 加賀美 敦 北山 宏行 藤田 太郎 川村 正人 太田 穂 山崎 靖博 飯村 英樹 三谷 好美 桑原 和之 星野 敏幸

若林 秀勝 渡辺 秀政 松原 秀利 石川 大輔 市場 雅俊 寺本 義隆 齋藤 敏秋 瀬川 直希 曾我部 透 青木 秀明 米陀 直樹 菊地 尚 加藤 奈三 原 聡 寶利 千芳 山崎 和徹 知久 秀美

又ム地区

32名

小島 聡一 糸崎 一幸 高崎 均 浦瀧 宗教 松本 宗和 岡田 耕一郎 野中 和弘 河合 暢 末松 崇洋 谷藤 学 合田 裕 高谷 浩司 溝口 勝 小田 幹夫 松田 幹信 江幡 良博 荒木 裕之 鬼原 慎一 中村 広明 村上 誠 坂口 正則 酒井 孝雄 林 和弘 志土 泰次 伊東 範勝 安念 純平

納内地区

24名

高瀬 祐一 田中 仁了 松野 勇二 荒井 優 高村 雅紀 種田 光男 蓑口 邦夫 水野 俊文 野上 雅弘 森下 徹 長谷川 卓也 尾崎 優也 森田 裕美 野澤 浩輝 鈴木 陽志 山田 憲明 板垣 勝実 宮武 宏隆 大野

多度志地区

25名

岡田 博樹 大窪 幸夫 久保田 裕之 山田 裕之 竹内 誠 柏倉 慎也 佐藤 秀幸 森田 一洋 板垣 昭仁 大井 研太 糸川 正幸 細川 亮一 板垣 政友 池田 定儀 遠藤 雅仁 古川 和也 光富 哲也 光富 輝章 鈴木 直人 有働 正夫

中川 幸生 馳 喜禎 但木 広和 見上 貴信 吉田 和彦 小畑 幸洋

杉山 雅一 中村 雅規 小原 雅規 青木 照一 尾崎 成宣

南	橋	大	池	藏	松	平	鈴	小	藤	高	太	伊	池	千	岡	石	上	坪	武	雨竜地区 50名					樋	畑	近	西	村
本	林	津	田	平	松	木	林	本	島	田	藤	田	代 崎	部	橋	月	田	石	勝						掛	中	澤	川	上
伴	貴	俊	行		昌	裕	真	大	隼	智	恵	忠	幸	幸		章	義	恭	勝	勇	聖	浩	雄	慎					
和	之	之	紀	定	広	也	悟	樹	人	之	一	文	広	隆	優	雄	雄	幸	智	太	人	規	一	治					

廣瀬 隼人 功
小嶋 隼人
永野 義典
長谷部 朋
越前 勤
沖田 孝俊
高橋 勲
明道 昭典
佐々木 健一
小玉 光憲
長田 敬一
志部 谷 悟
鈴木 僚一
竹ヶ原 広和
藤田 涼太郎
造田 裕一
吉本 昌史
沖田 努
松長 伸哉
齋藤 功幸
水上 建二
中野 洋章
須見 浩行
徳光 忍
野崎 正吉
久保田 健司
佐々木 雅和
大熊 義和

江田	西山	白岡	山本	干場	前田	川島	山田	森島	平林	伊藤	辻	道下	坂巻	吉田	橋本	浅野	植松	竹林	朝倉	松永	岩倉	山本	北竜地区 48名	金部	安部
孝正	直樹	敏崇		規守	史伸	敏光	朝夫	和美	守恭	英昭		裕剛	庄人	吾哲	義春	春雄	義晃	億法	尊隆	祥光				勇太	直樹

善廣堂竹川佐深尾續井高伊川金高藤渡松川黃川藤吉大高
岡瀨前谷本藤瀨崎木崎田藤瀨山橋井辺田村倉田井田場田
浩一諭隆綾友浩裕倫昌隆和孝明恵祐正孝幸
樹真弥全幸人博郎己義幸幸崇幸行紀一力太泰透裕修淳喜

藤野	笠井	畠山	花岡	古屋	藤井	平野	古林	阿部	鹿島	北村	山内	市村	篠原	蔵前	中河	熊野	宇野	伊藤	黒田	岩本	村上	本間	北村	西河	野田
勝正	正展	勝利	恵佑	伸幸	利祐	一幸	隆文	邦幸	利樹	勝治	良治		文剛	聖彦	弘篤	利徳	孝司	伸一	浩人	勝彦	博志	富子	和典	信明	

梶加内地区

30名

吉成 吉成 宮原 関口 藤田 南谷
克彦 太郎 克弘 豪 眞一 秀明



今年も田植えスタート!!



5月9日から、多度志地区を皮切りに、JA管内各地区で田植え作業がスタートした。

納内地区では、昨年12月の「第73回全道JA青年部大会」における「純農Boyオーディション」で準グランプリに輝いた吉田翔吾さん（表紙写真）が、5月20日から作業を始めた。10日程かけて約30haに「ななつぼし」や「ゆめびりか」、WCS用稲などを密苗で作付けする。吉田さんは「米農家にとって田植え作業が一番大事な時期。今後の青年部活動をめいっぱい楽しむためにも気合を入れて作業に励みたい。また作業が落ち着いたら気になる他地域の農業を見て学び、純農Boyとして地元を含む北海道全体の農産物のさらなるPRの一翼を担いたい」と意気込んだ。

今年度のJA管内では、うるち米ともち米合わせて約9,732haで作付けされる見込み。田植え作業は5月20日頃ピークを迎え、5月末頃まで続く予定。

【営農企画課 河端】



販売部

水稲直播研究会 播種作業

5月9日から5月23日にかけて、水稲直播研究会（本山純司会長）による今年度の直播作業が行われた。同研究会では、4人のオペレーターにJA職員が付き、GPS自動操舵機能を付けた12条の専用播種機とドローンによる播種作業を行った。

同研究会員42人の水田に「えみまる」、「ななつぼし」のほか、飼料用米品種「そらゆたか」などの種粳を計約150haに播種した。新規で水稲直播に取り組む方が増加したことにより、昨年に比べ播種面積は30ha増加した。

同研究会事務局は「1戸あたりの面積増加が今後も続いていくなか、無くてはならない技術になると考えられる。研究会での播種面積増加で適期に播種する事が困難になってきている。播種体制整備を行い今後も対応していきたい」と話す。

【米穀課 浅沼】



『きたそらちの恵みを“つなぐ”うどん』

きたそらち産小麦を使った“うどん”完成



産地の魅力発信の一環として、きたそらち産小麦「きたほなみ（中力粉）」を原料に使用した乾麺うどん「おいしいうどん」を開発し、6月上旬より順次一般販売を予定している。

開発の経緯として、一般消費者から「JAきたそらちの小麦はどこで食べられるか」と質問を受けたことによるもので、当JA農産課が企画立案から開発まで担当。製粉は石狩管内江別市の江別製粉（株）、乾麺うどんへの加工は留萌管内留萌市のフタバ製麺（株）へ製作を依頼した。

開発を担当した同課職員は「うどん作りに最適な品種『きたほなみ（中力粉）』を使い、小麦本来の風味とコシのある食感が特徴のうどんをJAきたそらち産の単一原料で作ることができた。今後は、JAとして地域農産物の認知度向上と付加価値創出に取り組む一助として、本製品の販路拡大も視野に入れ、さらにきたそらち農産物のPRを強化していきたい」と話した。

4月下旬には一般販売にさきがけ、当JA本所で役職員等を招き「うどんお披露目会」も開催。「噛むほどに小麦の香りが広がる」と、試食した職員からは好評の声が寄せられた。

「きたほなみ（中力粉）」と「おいしいうどん」は深川市道の駅「ライスランドふかがわ」内のJAきたそらち農産物直売所「eciR（えしる）」などで販売予定。

【農産課 佐野】



販売部

● 令和6年度 ふかがわ肉牛組合定期総会 開催 ●

4月25日、ふかがわ肉牛組合（鈴木直人組合長）が「令和6年度 定期総会」を開催し、同組合の19人が出席した。

議事では、令和6年度事業報告や令和7年度事業計画等の議案が満場異議なく承認された。また役員改選が行われ、一己地区の横井優司氏が新組合長に就任。横井新組合長は、「飼料価格の高止まり等の要因から依然として畜産業界は厳しい状況にある。この苦境を、ふかがわ肉牛組合の強みである横の繋がりを生かして全員で打開していきたい」と就任への意気込みを語った。

同組合では、令和7年度も市内・外のイベントに積極的に参加する方針としております。JAきたそらち公式SNSで告知も行いますので、ふかがわ肉牛組合のイベントに是非お立ち寄りください。

なお、新役員は以下の通り。

役 職	氏 名
組 合 長	横井 優司
副組合長	東谷 陽一
会 計	松本 芳和
監 事	中村 康隆
〃	近藤 大志

【畜産課 稲田】



春作いちごの出荷スタート

5月4日、きたそらちの春の味覚を代表する果実、春作いちごの「けんたろう」が初出荷を迎えた。この日は、納内地区の尾郷勝氏が16パックを出荷。今年は3～4月の天候不良の影響でいちごの色付きが進まず、昨年より1週間ほど遅い初出荷となった。

当JA管内では納内地区2戸の生産者が春作いちごを栽培しており、「けんたろう」と「ゆきうら」の2品種が作付けされている。春作いちごは6月下旬頃まで出荷される予定で、当JA農産物直売所「eciR（えしる）」などにも並ぶ。

【青果課 柏倉】



初出荷した尾郷勝氏の父・敏明氏

青果部

青果部選果場 外国人材の受け入れを開始

5月4日より、当JA青果部選果場では外国人材の受け入れを開始し、インドネシア人4名が選果作業などに従事している。

これまで選果場では、繁忙期を中心に慢性的な人手不足が続いており、作業の効率化や計画的な出荷体制の維持が大きな課題となっていた。また農福連携の就労支援にも取り組んできたが、それだけでは労働力をまかなえない実情にある。こうした背景を踏まえ、JA北農5連の「パートナー企業連携等支援事業」を活用し、人材派遣サービスと連携。今年度はインドネシア出身の4名を派遣雇用し、アスパラの選別や胡瓜の選果、ふるさと納税返礼品の梱包などの作業に従事してもらう。派遣期間は10月中旬までの見込みで、一定期間の実務経験を積んだのち、他地域での派遣就労も予定されている。

青果課職員は、「作業に対して非常に真面目に取り組んでいただいており、丁寧さや責任感もある。日本語が通じにくい場面も、身振り手振りや職員同士の工夫で問題なくコミュニケーションがとれており、作業の質も安定している。地域の実情に応じた新たな労働力のかたちを築きながら、きたそらちの農業を未来へとつなぐ取り組みを一步ずつ積み重ねて参りたい」と語る。

今回派遣雇用しているアプリリア・レトノさんは、富良野市での人参ジュース加工や愛知県での菊収穫の経験もあり、「日本の農業はやりがいがある。職場の皆さんが親切で働きやすい。日本に定住するのが夢」と笑顔を見せた。

当JAでは、今後も外国人材の受け入れを計画的に検討し、共同選果の体制をより強固なものとするこで、安定した出荷体制の確立と働き手の確保を図っていく。

【青果課 川本】



音江中央保育園・北光保育園 今年も元気に！バケツ稲体験！！

5月21日、深川市の音江中央保育園（篠原いずみ園長）の園児6名と北光保育園（浅利法子園長）の園児9名が各園内でバケツ稲の田植えを行った。

今年は長野靖 一已地区代表理事提供の「ふっくりんこ」の苗を使用し、当JA職員がバケツ稲の作業手順やコツなど園児たちに説明した。

田植え初挑戦の園児たちは“バケツの田んぼ”に悪戦苦闘しながらも、元気いっぱいにかきし苗を3本ずつ丁寧に植えた。作業終了後、「稲を育てるのに大切な事はなんですか？」との職員からの問いに、園児たちは「みず！」「たいよう！」と笑顔で答えた。

今後、職員も協力しながら、園児たちは日々の水管理や鳥獣害の防止を行い、秋の収穫まで一生懸命お世話する。

【営農企画課 高桑】



音江中央保育園



北光保育園

農業 振興部

管内小学校へ食育教材を贈呈

当JAは管内小学校9校と高等養護学校1校に、JAバンクが制作した食育教材「農業とわたしたちの暮らし」を贈呈した。この教材では、農業や食、環境、またそれらに関わる経済活動などをイラストや写真、グラフで分かりやすく表現されており、次世代を担う子どもたちに農業への理解を深めてもらおうと平成20年から毎年継続して贈呈している。

今年は4月30日、岩田清正組合長が深川市立一已小学校を訪問し、同校5年生にと教材本を手渡した。教材本を受け取った同校の木村一典校長は、「毎年素晴らしい教材を贈呈いただきありがたい。この教材を様々な教科と結びつけながら広く活用させていただき、子どもたちの将来の可能性を広げられるよう努めたい」と話す。

【営農企画課 石野】



JAきたそらち女性大学 「カレッジあみていえ」 第5期生 入学式

4月18日、JAきたそらち女性大学「カレッジあみていえ」第5期生の入学式が開催された。

「カレッジあみていえ」は、JAきたそらち管内の女性が「食と農」、「くらし」、「文化」、「環境」などの学習を通じて知識や技術を高め、自分磨きや新たな仲間づくり、心豊かな地域づくりを目指す事を目的として令和2年度から開校しており、今年度は第5期生として16人が入学した。

入学式では、同大学の田丸利博学長（JA代表理事専務）が「6講あるカリキュラムでは、生産者やJA職員など、様々な立場の人が講師を務める。たくさん質問して知識を深めるだけではなく、普段あまり関わる事のない人たちとの出会いや交流も楽しみながら、充実した一年を過ごしていただきたい」と式辞を述べた。

式の中では受講生一人ひとりから自己紹介をいただき、「新しい仲間と一年間学ぶことがとても楽しみ」「昨年農と地域の繋がりが、とても勉強になった。今年も一年楽しく学びたい」などの声を聞くことが出来た。

入学式後のオリエンテーションでは、性格診断の「エゴグラム」を実施した。「エゴグラム」は、個人の心理状態や行動を把握するもの。質問に回答していく中で自分を知り、周囲の方とのコミュニケーションに役立てることが出来る。実際に診断した受講生は「何年か前にも一度診断したが、その時と結果が違う。自分の置かれている環境で結果が変わったのかもしれない。また何年後かに診断すると結果が変わるのかもしれないと思うと面白いと思った」と話した。

【営農企画課 石野】



農業 振興部

「北育ち元気塾」第2回研修会 拓殖短大で開催

4月25日、「北育ち元気塾」第2回研修会が拓殖大学北海道短期大学で開催された。今回は、同短大の岡田佳菜子教授が講師として水田土壌について講義した。

この日、前半は土壌の基礎を座学で学び、後半は学内の圃場で実際に土壌断層を観察する予定だったが、悪天候により座学のみで開催となった。

講義では、岡田教授が「水田と畑の違い」、「地形と土壌の種類」、「土壌管理作業」、「施肥管理」、「有機物管理」の5つの項目で土壌について説明。また農研機構(NARO)が提供している土壌データ「日本土壌インベントリ」を利用し、北空知管内地域の土壌の種類や性質などを調べた。岡田教授は「土壌の質を良くするために、施肥の面では約5年に一度の土壌診断や養分管理の徹底、土づくりの面では稲わらや根株の分解をすすめるための土壌の乾燥促進が必要」と講義をまとめた。

受講した塾生は「自分が住む地域の土壌の種類や特性を知ることができて良かった。今後は土壌の性質にも目を向けて農作業を行いたい」と感想を述べた。

【営農企画課 河端】



北竜中3年生が沖縄県で「ひまわりライス」をPR

北竜支所

4月22日、北竜町立北竜中学校の3年生5名が「北竜ひまわりライス」の販売実習を沖縄県の「JAおきなわファーマーズマーケットいとまん『うまんちゅ市場』」で実施した。

この実習は、同校の修学旅行の一環として毎年この時期に行われている。当JA北竜支所の職員も参加し、生徒とともに販売・PRを行った。

当日は、「ななつぼし」と「ゆめぴりか」の2品種を試食販売し、購入者には「きたくりん」パックご飯のプレゼントも行った。序盤は生徒らに緊張が見られたものの、慣れてくると来場者へ試食を勧めたり、自作したチラシを配布したりするなど、積極的な声掛けで北竜町をPRし、3kg・5kg入りを計114袋販売した。生徒らの一生懸命な姿により店内も活気に溢れている様子だった。

【北竜支所 武田】



『そばのまち・幌加内と台湾、国境を越えた農業交流』

台湾農業部政務次長が幌加内町を訪問

幌加内支所

4月26日、日本の農林水産省に相当する台湾農業部から胡忠一同部政務次長を団長とする訪問団6人が幌加内町を訪問した。今回の同団の来町は、日本一のそば産地である同町が進める「そばのまちづくり（そば振興計画）」や、環境に配慮した地域資源活用への取組に対する関心から実現したもの。

この日、同団はそばの生産体制、地域一体の品質向上の取組、さらには「バイオコークス」の製造施設や利雪型低温倉庫「雪乃御殿」などを視察。当JAより田丸利博 専務理事や岩本靖幸 幌加内地区代表理事をはじめとした役職員、同町より細川雅弘町長や小川雅昭 町議長をはじめとした役職員の計10人が対応した。

視察の後には、当JA幌加内支所で意見交換会が行われ、台湾と幌加内双方の農業事情や課題、今後の連携の可能性について率直な対話が交わされた。

今回の訪問を契機に台湾との農業交流や技術連携の進展が期待される。

【幌加内支所 宮田】



令和7年度ホクレン新採用職員 農協実習を実施

総務部

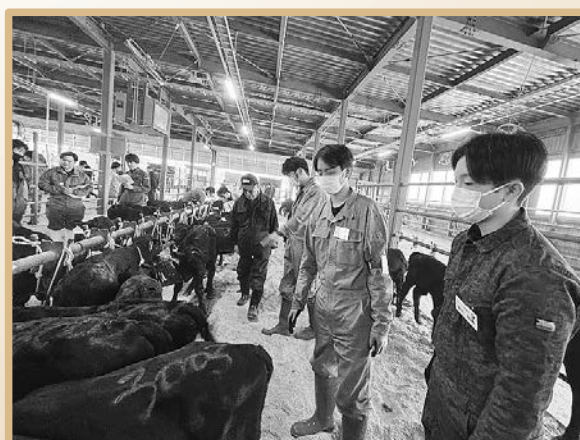
4月21日から5月2日の2週間にわたり、ホクレン農業協同組合連合会の新採用職員 菊池馨氏と滝川裕稀氏の2名が当JAで農協実習を行った。

実習内容は、ホクレン事業と関わりのある販売部、青果部、経済部において各種作業のほか、農家実習として松田直人 一己地区理事宅において牛舎内の清掃、給餌作業などを行った。

両氏は「数多くの貴重な経験をしたことで農業現場の広さと奥深さを実感した。職員の方々の努力や工夫を学び、JA職員、生産者の方々とコミュニケーションを密に取ることもできた。今後はより一層責任感を持って取り組みたい」「懇親を深める機会を設けていただき、職員の方々の人柄の良さや温かさに触れることができた」などと実習の感想を述べた。

当JAでの実習経験を活かし、今後は道内外で活躍されることを期待している。

【人事課 墓田】



JAへの就職希望者100%就職（令和6年度実績）

令和8年度入学生第1回募集

- 定員40名 ●男女共学 ●1カ年 ●寮完備（個室）●通学制
- 受験資格：満27歳未満（令和7年4月1日現在）/
大学卒及び見込、短大・専門学校卒及び見込、高校卒及び見込
- 試験日：9月20日（土）●願書受付：7月11日（金）～8月29日（金）消印有効
- オープンキャンパス随時開催中

令和7年度より 通学制開始



お問合せ
資料請求

JAグループ職員養成校

JAカレッジ

一般財団法人
北海道農業協同組合学校
〒069-0834 江別市文京台東町43-1
☎0120-918-417 【JAカレッジ】で

検索

新入職員のお知らせ (キャリア採用)



\\ よろしくお願ひします! //



令和7年5月1日付

金融共済部 渉外課

たなか けんと
田中 健斗



青年部深川支部・雨竜支部のインスタはこちら！



@JA.YOUTH_FUKAGAWA



@URYU_SEINENB



青年部での活動、日々の農作業の様子などを青年部員が投稿しています♪
ぜひ、フォローしてチェックしてみてください！



農業振興部からのお知らせ

労働者を雇用する農業者・農業法人の皆様

令和7年6月1日に『改正労働安全衛生規則』が施行されることに伴い

「熱中症対策」が義務化されます！

内 容

当該農業者等に対して、熱中症があった際に対応できるよう
「早期発見のための体制整備」
「重篤化を防止するための措置の実施手順の作成」
を行い、その内容を関係作業者に周知することを義務付けるもの



対 策

必要事項を記載した
「張り紙（「熱中症」対応フローなど）」を
事務所等に掲示することが有効となります

適切に行わなかった場合、**6か月以下の懲役**または**50万円以下の罰金**が課されます
(労働安全衛生法第119条)

『改正労働安全衛生規則』の詳細や「熱中症」対応フローの様式などは
JAきたそらちホームページよりダウンロードいただけます。
<https://www.ja-kitasorachi.com/general/7055/>



コメ政策見直しの焦点は

北海道大学大学院
農学研究院 教授

東山 寛



1967年 札幌市生まれ。北海道大学大学院農学研究科博士後期課程修了。博士（農学）。秋田県立農業短期大学、秋田県立大学生物資源科学部を経て、2004年北海道大学大学院農学研究助手。助教、講師、准教授を経て、2021年より現職。

JAきたそらちの組合員のみならず、JAの役員も含めた関係機関のみなさん、初めまして。北海道大学農学部で教員をしております東山と申します。わたくしの専門は農業経済学で、北海道の農業現場や関係機関の第一線で活躍の皆様から日々、勉強をさせていただいております。2年前にコメ・水田農業を研究する全国的な研究プロジェクトが立ち上がり、わたくしとしては北海道を代表する水田地帯としてJAきたそらち管内に注目して、折に触れていろいろとご教示をいただいているところです。

そんなご縁もあり、年に3回（2月、6月、11月）の連載として貴JAの広報誌に寄稿させていただくこととなりました。今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

さて、5月21日に江藤拓農水大臣が

突然の辞任となり、大変驚きました。後任の小泉進次郎 新農水大臣は会見で「一番力を入れなければいけないのはコメだ。コメに尽きる」と述べました。コメ問題が農政の最重要課題になっています。焦点は3つあると思います。1つ目は、コメの小売価格が3月以降、5割当たり4千円（税込）を超えている状況にどう対処するかです。小売価格は昨年比でちょうど2倍になっていますが、生産者の受取価格はそこまでいいないでしょう。その意味でも「高い」と言えます。2つ目は、3月10日から政府備蓄米の放出（入札）が始まりましたが、それが「値頃感」のあるコメとして消費者の手元に行き渡っていない問題です。3つ目は、いまこの状況で、コメ（主食用米）を増産する必要があるのは明らかなのに、国としてその掛け声を出し切れていないという問題です。小泉新大臣がこの3つの問題にきちんと対処してくれるのか、注目しています。

備蓄米については、放出前は98万トくらい在庫があったと思われます。年産は、令和2年産から6年産までの5年分です。これまで3回の入札で、計31万トを放出しました。年産の新しいものから出しているのので、6年産（新米）と5年産（古米）は大体底をいつていると思います。5月に予定していた4回目の入札は延期になりましたが、4年産（古古米）を中心とする予定でした。競争入札のかたちを取っているのので、落札業者（主に全農）はいまの相場、相対取引価格に近い水準で札を入れざるを得ませんでした。備蓄米の放出で価格を下げたいのであれば、政府買入価格＋保管経費で売り渡すべきです。

農水省が取りまとめた今年4月末時点の全国の作付意向によると、主食用米の生産を「増やす」と答えたのは北海道・東北・北陸・関東を中心とした34道県で、合計7万5千㌔ほどが増える見込みです。ただ、増える面積の9割が北海道・東日本で西日本はつくる力が失われている感じがします。増産する量は合計40万トと大きいですが、いま備蓄米の放出で最大60万トほど穴をあげようとしているのに、これでは足りないでしょう。全国一律で進めってきた生産調整のやり方を見直し、国が先頭に立ってメリハリのついた増産への支援を行うべきと考えます。



農業振興部からのお知らせ

巡回ドックのご案内

あなたの健康は家族の幸せの第一歩!!
年1回のドック受診をおすすめいたします。

巡回ドック日程と場所

8月6日(水)	J Aきたそらち 本所(営農センター)	深川市深川町字メム10号線山3線5850番地
8月7日(木)	J Aきたそらち 雨竜支所	雨竜町字満寿30番地193
8月8日(金)	J Aきたそらち 北竜支所	北竜町字和36番地3

巡回ドック健診項目

※以下項目は、一定の基準により医師が必要と認めた場合に実施します。

基本的な項目 特定健診、がん検診

心電図、眼底検査、貧血検査、血清クレアチニン検査

巡回ドック検診料金

※加入保険により検診料金が変わります。

市・町	国保	後期高齢者医療	社保(本人)		社保(家族)	
			34歳以下	35歳以上	39歳以下	40歳以上
深川市	18,150円	18,150円	19,800円	18,865円	19,800円	18,150円
雨竜町	20,560円	19,922円	19,800円	18,865円	19,800円	19,922円
北竜町	18,150円	18,150円	19,800円	18,865円	19,800円	18,150円

※国保で39歳以下の方は19,800円となります。

市・町・JAの助成後の検診料金

※JA助成金(5,000円)対象は、正組合員及び同居している家族・農業に従事している家族です。
准組合員の方は対象外です。
※社会保険の方の金額は、協会けんぽへ申込後の金額です。

○深川市

年度末年齢	国保	後期高齢者医療	社保(本人)	社保(家族)
34歳以下	14,800円	-	14,800円	14,800円
35歳～39歳	14,800円	-	282円	14,800円
40歳～74歳	0円	-	282円	0円
75歳以上	-	2,150円	-	-

※以下項目を、一定の基準により医師が必要と認め検診を実施した場合は別途料金がかかります。ただし、国保で40歳～74歳の方は市の助成があります。心電図1,430円、眼底検査638円、貧血検査232円、血清クレアチニン検査110円

○雨竜町

年度末年齢	国保	後期高齢者医療	社保(本人)	社保(家族)
29歳以下	14,800円	-	14,800円	14,800円
30歳～34歳	0円	-	5,780円	0円
35歳～39歳	0円	-	282円	0円
40歳～74歳	0円	-	282円	0円
75歳以上	-	0円	-	-

○北竜町

年度末年齢	国保	後期高齢者医療	社保(本人)	社保(家族)
34歳以下	14,800円	-	14,800円	14,800円
35歳～39歳	14,800円	-	282円	14,800円
40歳～74歳	6,000円	-	282円	6,000円
75歳以上	-	6,000円	-	-

※以下項目を、一定の基準により医師が必要と認め検診を実施した場合は別途料金がかかります。

心電図1,430円、眼底検査638円、貧血検査232円、血清クレアチニン検査110円

*****留意事項*****

- 各市町からの助成を受けるためには、検診結果が各市町に提供されることに同意する事が必要です。
- 上記以外に前立腺がん検診やB型・C型肝炎検査などのオプション検診が用意されております。
- 令和7年4月1日以降発行の「特定健康診査受診券」を、すでに掛かりつけの病院等で使用された方につきましては市町の助成金はありません。
- 巡回ドック受診の際には「健康保険証(マイナ保険証を利用の方はマイナンバーカード)」と「特定健康診査受診券」を忘れずにご持参下さい。
- 受付時間と人数を指定させていただきます。
- 待合スペースの密集状態防止措置のため、ご希望時間に添えない場合がございますが何卒ご理解の程お願いいたします。

☆お申し込み方法や日程などの詳細につきましては、各支所の人間ドック担当者へお問い合わせ願います。

地区担当体制のご紹介

JAでは、組合員と共に地域農業を振興し、より良いJA運営に向けて、地区担当体制を整備しています。今後、全戸巡回等を通じて組合員一人ひとりとの情報交換・ビジョンの共有を図って参りますので、よろしくお願いします。

つきましては、本年度の地区担当職員及び作物別・部門別の担当職員をご紹介します。

一已地区

◎地区リーダー



渡辺 康貴 考查役（深川支所営農課）



【上段・左より】

戸嶋 凌太	係	（深川支所営農課）
丸岡 章一	課長	（深川米穀施設課）
板見 秀二	主査	（深川米穀施設課）
松田 和弥	係	（振興課）
高桑 陵子	主査	（営農企画課）
打譯 将樹	係	（資材推進課）

【下段・左より】

谷内 健二	主査	（融資課）
一戸 栄治	主査	（融資課）
岡部慎一郎	主査	（渉外課）
上埜 祐輝	係	（渉外課）
千石 倅輔	係	（渉外課）

音江地区

◎地区リーダー



吉田 拓哉 主査（深川支所営農課）



【上段・左より】

千葉祐太郎	係	（深川支所営農課）
松本 定幸	課長	（営農企画課）
小田島祐牙	係	（資材推進課）

【下段・左より】

松本 大輝	主査	（融資課）
岡部慎一郎	主査	（渉外課）

メム地区

◎地区リーダー



正田 佳子 主査（深川支所営農課）



【上段・左より】

亀島 健吾	係	（深川支所営農課）
小島 和也	主査	（深川米穀施設課）
廣田 淳	課長	（振興課）

【下段・左より】

長内 大貴	係	（資材推進課）
太田 久志	考查役	（融資課）
上埜 祐輝	係	（渉外課）

納内地区

◎地区リーダー



辻 聖也 主査（深川支所営農課）



【上段・左より】

近江 陽斗 係（深川支所営農課）
白川 航 係（営農企画課）
河端小弥太 係（営農企画課）

【下段・左より】

越智 順哉 課長（資材推進課）
堀口 敦暉 係（融資課）
千石 倅輔 係（渉外課）

多度志地区

◎地区リーダー



松本 隆史 係（深川支所営農課）



【上段・左より】

近江 陽斗 係（深川支所営農課）
小松 努 主査（振興課）
中村 勇 係（資材推進課）

【下段・左より】

山田 睦未 係（融資課）
千石 倅輔 係（渉外課）
佐藤 恭丞 係（渉外課）

雨竜地区

◎地区リーダー



荒田 勇次 課長（雨竜支所営農課）

南盛



【左より】山田 雅典 係（雨竜支所営農課）
齊藤 蒼斗 係（雨竜資材課）
薄木 康弘 調査役（金融共済雨竜支所）

東栄



【左より】荒田 勇次 課長（雨竜支所営農課）
北町 直樹 係（雨竜資材課）
薄木 康弘 調査役（金融共済雨竜支所）

西



【左より】渡部 翔也 係（雨竜支所営農課）
田中 大治 課長（雨竜資材課）
清水 孝輝 係（金融共済雨竜支所）

中央



【左より】佐野 芙弥子 係（雨竜支所営農課）
田中 大治 課長（雨竜資材課）
清水 孝輝 係（金融共済雨竜支所）

本牧



【左より】藤本 篤 主査（雨竜支所営農課）
土永 美幸 主査（雨竜資材課）
松井 修司 課長（金融共済雨竜支所）

北友



【左より】伊藤 勝成 主査（雨竜支所営農課）
北町 直樹 係（雨竜資材課）
松井 修司 課長（金融共済雨竜支所）

北竜地区

◎地区リーダー



武田 裕二 課長（北竜支所営農課）

碧水・岩村



【左より】 墓田 準也 主査（北竜支所営農課）
阿部 龍弥 係（北竜資材課）
小野寺修一 課長（金融共済北竜支所）

美葉牛



【左より】 尾崎 壮 係（北竜支所営農課）
阿部 龍弥 係（北竜資材課）
小野寺修一 課長（金融共済北竜支所）

古作



【左より】 尾崎 壮 係（北竜支所営農課）
上月 洋 課長（北竜資材課）
小笠原 清 考査役（金融共済北竜支所）

板谷・西川・和



【左より】 石野 泰誠 係（北竜支所営農課）
上月 洋 課長（北竜資材課）
小笠原 清 考査役（金融共済北竜支所）

三谷・恵竜



【左より】 阿部 孝司 主査（北竜支所営農課）
藤瀬渉太郎 係（北竜資材課）
古木 亮裕 主査（金融共済北竜支所）

幌加内地区

◎地区リーダー



前野 尚弘 課長（幌加内支所営農課）

南幌



【左より】 嶺岸 智也 係（幌加内支所営農課）
前田真作之 課長（幌加内資材課）
中村 元 係（金融共済幌加内支所）

幌中



【左より】 中原 淳 主査（幌加内支所営農課）
前田真作之 課長（幌加内資材課）
渡辺 拓也 課長（金融共済幌加内支所）

幌里



【左より】 宮田 大輔 係（幌加内支所営農課）
小野 裕之 係（幌加内資材課）
齋藤 悠介 係（金融共済幌加内支所）

北幌



【左より】 小野 裕之 係（幌加内資材課）
齋藤 悠介 係（金融共済幌加内支所）

各支所営農課 担い手担当

深川支所



川田 博行 課長
(深川支所営農課)

雨竜支所



荒田 勇次 課長
(雨竜支所営農課)

北竜支所



武田 裕二 課長
(北竜支所営農課)

幌加内支所



嶺岸 智也 係
(幌加内支所営農課)

販売部農産課 作物別担当



森島 直樹 課長
そば他全般



齋藤 直寛 主査
小豆・雑穀



佐野 雄平 主査
そば・小麦・大豆



荒井 悠志 係
馬鈴薯



毛利 陽紀 係
馬鈴薯



和田 蒼士 係
小麦・大豆



長場 夏太 係
そば・てん菜



村上 裕太 係
小麦・大豆

青果部青果課 作物別担当



川本 雄太 課長
青果物全般



楠木 貴博 主査
胡瓜
南瓜
アスパラ
長いも
にんにく
兼、幌加内地区担当



柏倉 隆芳 主査
北斗メロン
さやいんげん
アスパラ
ピーマン
長ねぎ
いちご
玉ねぎ



藁口 達矢 主査
旬菜



富田 貴浩 係
暑寒メロン
マダーボール
スイートコーン
果樹
兼、雨竜地区担当



藤川 憂也 係
ひまわりメロン
ひまわりすいか
トマト
醸造用ぶどう
兼、北竜地区担当



衣川 馨竣 係
ミニトマト
長いも
百合根
さつまいも



- 意見・要望事項
- 対応等

JAきたそらち (18)

● **したい。**
 ● 早々、全農新潟が一般コシヒカリで23,000円、魚沼産で25,000円のJA販路を提示し、JA魚沼が販売価格を28,000円から33,000円を目指すという内容が報道されました。この時期に概算金を提示するという事は無いことで、一つの基準になると見ています。JA単体で生産者概算金をいくらにするかお伝えできませんが、出荷契約時に概算金イメージ出来るよう、ホクレンにも準備して頂くよう要望しています。また民間業者も既に入り、価格も提示し、網目の話までしているとのこと。しっかりと進めていきます。また契約や販売の関係も、今までとは違う手法を検討しています。例えば、最低精算保証価格を決めた中で買取価格を設定し、その買取価格が市場で逆転した場合市場価格に連動させるというよう、様々な手方で少しでも生産者の手取りになるよう検討しています。現在の状況を踏まえ、JAにお米を出荷して頂けるといいますので、引き続きよろしくお願ひします。

● **JAがたくさん集荷すると、JAの経営も良くなり組合員にとってもメリットがあると思うので、様々なアイデアを出して進めてほしい。(要望)**

● **お米の価格だけで民間業者へお米が流れたわけではない。庭先集荷などの条件も一因、検討すべきでは。**

● **集荷システムの変更は非常に難しいですが、今後検討して参ります。**

● **お米の集荷業務について、**

● **人員も減っているため、支所の集荷は初出荷のみにするなどの検討はどうか。**
 ● **貴重なご意見ありがとうございます。検討させていただきます。**

● **米価が高いため、民間業者は播種前から動き始めている。新潟では早期に概算金を提示したという話もある。出荷契約数量を増やすためには、それなりの金額提示が必要と思いませんか。**
 ● **JAに出荷してもらうには何か引き付けるものが必要ではないか。**
 ● **現在の米価が適正だとは考えませんが、情報収集に努め、国が示す適正価格も踏まえた上で出荷契約の際に精算金額をイメージできるようにします。**

● **「さらに397」について、作りやすいが作付け面積が減っており、今後どのような方向に進むのか。**
 ● **「さらに397」は全道的に生産量が減っているなか、一定程度の需要があり、今では「ななつぼし」との価格差が500円まで縮まっています。ホクレンとしては今後の需要は期待できないということで、「そらさらり」へシフトしていく意向です。**

● **小麦の施設増設を検討しているとのことだが、施設を持っている農家へ外部委託する考えはあるのか。**
 ● **基本的な考え方として、個々の農家の負担を減らすために生麦を受け入れることが前提にあります。生産者の面積も増え、品目構成も多岐にわたっているため、JAで乾燥調製させていたことで、小麦・大豆の拡大の道筋になると考えています。また、新品種についても道内で当JAが**

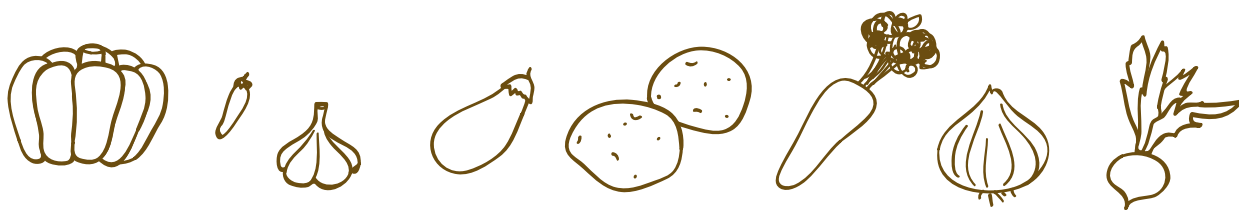
● **最初に取り組むことになっていきますので、他産地よりも有利に作付け出来るよう検討しながら進めていきます。**

● **小麦・大豆施設の増強アンケートがあったが、面積が増加したならリモートセンシングをもっと有効活用してはどうか。**
 ● **再度協議会において検討致します。**

● **小麦・大豆施設の増強と「北見95号」への切り替えを行うとのことだが、種子園を設置し前年の種子を使用ではなく、当年産の種子を使用できるようにしてほしい。(要望)**
 ● **「北見95号」について、JAきたそらちが道内で初めて取り組む産地となるため、千数百ヘクタールに対応できる種子を用意したいと考えています。併せて、消毒済み種子を供給できるように、設備を調査している段階です。**

● **小麦・大豆施設増強工事の前に、騒音や振動・地下水の臭い・電波障害等が想定されるため、施設周辺の非農家住民向けに説明会を開催し、頂きたい。現在は施設管理に運営を心掛けて頂いており、感謝している。今後とも人事も、動き等担当職員が変わっても、引き続き施設の運営維持に努めて頂きたい。(意見)**

● **畜産業界は飼料代や資材の高騰などで全国的に倒産が相次いでいる。市や道は対策に乗り出しているが、JAとして独自の対策は考えているのか。**
 ● **内部で協議し改めて周知させて頂きます。**



JAきたそらち太陽光発電所 発電実績

○令和7年4月実績

発電電力 **51,735kWh**

計画対比 Δ3,541kWh

前年対比 Δ10,223kWh

売電金額 **2,069,400円 (40円/kwh)**

○累計 (R6.12~R7.3)

発電電力 **131,004kWh**

計画対比 2,992kWh

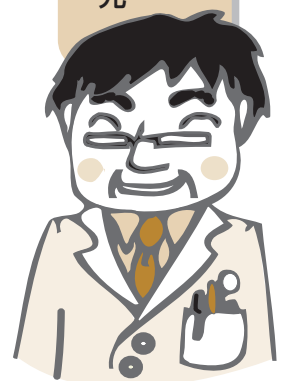
前年対比 Δ56,932kWh



五十肩について

みきた整形外科クリニック院長 三木田

光



五十肩は50歳代をピークに発症します。肩関節を構成している組織の加齢的变化が主体となります。その中でも比較的早期に変化の起こりやすい腱板、上腕二頭筋長頭腱の退行性変化を基盤とした疼痛性可動域の制限を引き起こす疾患です。肩関節周囲炎とも呼ばれています。この疾患には肩峰下滑液包炎、上腕二頭筋長頭腱鞘炎、腱板疎部の炎症、さらに癒着性関節包炎となり拘縮肩になると考えられます。診断として、明らかに外傷はないことが多いですが、中には軽微な外傷が誘因となることがあります。

発病初期は運動時痛、夜間痛を認め、可動域はすべての方向に制限されます。急性期を過ぎ病状が進行すると滑液包や関節包などの癒着が強くなり、拘縮をきたします。この時期は肩甲上腕関節での上腕骨頭の動きが制限され、肩甲骨の動きによってのみ動かすため、「柵の上のものを取れない」「結髪、結帯動作ができない」などの障害が著明となります。理学所見として、肩関節可動域はすべての方向に制限され、動作時痛を伴います。圧痛は肩の前方、結節間溝、烏口突起、肩外側の大結節に認めることが多いです。レントゲンでは特に異常を認めることはありません。超音波検査では腱板、上腕二頭筋長頭腱の病態診断に有用です。MRIでは関節内の腫脹、腱板断裂の有無、骨の異常につき診断できます。腱板断裂と診断された時は五十肩から除外されます。

治療としては、まず疼痛の除去、筋痙直による運動障害や関節拘縮を改善することです。保存的治療として薬物治療、注射、温熱治療、運動療法を併用して疼痛、拘縮の改善をはかります。薬物治療としては、消炎鎮痛剤の経口薬、坐剤、外用薬として薬剤を含む湿布を貼付、夜間痛不眠を訴える例には睡眠剤の投与も効果的です。疼痛の強い例では、ステロイドやヒアルロン酸の注射を肩甲上腕関節や肩峰下滑液包内に注入し運動を行うとより効果が上がります。運動療法としては、自動運動を中心に行い改善しなければ他動運動を行います。保存的治療にて改善のない例は手術的治療の適応となりますが少数です。

五十肩の症状がある方は整形外科でご相談ください。



金融共済部からのお知らせ



JAバンク北海道は、
北海道日本ハムファイターズの
オフィシャルスポンサーです。

JAバンクご利用で

ドドン プレゼント



JAバンクを
ご利用いただくと

抽選で **合計2,000名さま** に、全道JAの特産品が **ドドン** と当たる!

第1期 2025 4/1 火 2025 9/30 火 23:59締切 第2期 2025 10/1 水 2026 3/31 火 23:59締切

特賞 合計10名さま 選べる特産品20,000円相当
プレミアムコース(5,000円)×4点

A賞 合計40名さま 選べる特産品10,000円相当
プレミアムコース(5,000円)×2点

B賞 合計700名さま 特産品5,000円相当 選択不可
プレミアムコース(5,000円)×1点

C賞 合計1,250名さま 特産品3,500円相当 選択不可
スタンダードコース(3,500円)×1点



Wチャンス 4~7月限定

北海道日本ハムファイターズ
臨場感あふれる「FIELD LEVEL(1階)」または
フィールド全体を見渡せる「MAIN LEVEL(2階)」が当たる!

ペア観戦
チケット

エスコ
ン
フィールド
北海道

合計 **88組176名さま**
※6~9月開催44試合

詳しくはWEBで



JAバンク 北海道

金融共済部からのお知らせ

JAバンクを利用して、**ドドーン**ともらおう！

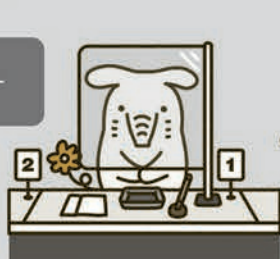
応募対象／JAの組合員さま

・ 応募条件 ・

期間中に下記いずれかの新規取引をいただいた方

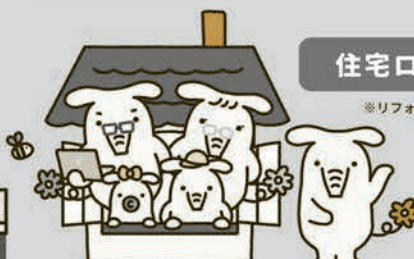
定期貯金
定期積金

※金額・契約期間は条件あり



住宅ローン

※リフォームローン含む



下記のいずれかのご利用またはご契約・お申し込み



JAネットバンク
JAバンクアプリ プラス



JAカード



JAバンク
ローン



給与振込



年金
受取・予約



年金振替
(農業者年金・iDeCoなど)

取引数に応じて、応募口数がアップ!!

応募方法

本キャンペーンへの応募は、
右記WEBサイト内の応募フォームより
お客さまご自身で
お申込みいただく必要があります。

(紙での応募はできませんので、あらかじめご了承ください)

特産品、Wチャンス(観戦ペアチケット)ともに、
必要事項を入力の上お申込みください。



留意事項

- 応募は北海道にお住まいの方に限ります。
- 定期貯金は預入期間1年以上かつ金額20万円以上、
定期積金は契約期間1年以上かつ金額24万円以上の方が対象です。
- 特産品応募とWチャンス応募の併用は可とします。
- 第1期・第2期のキャンペーン期間終了後に、当金にて厳正なる抽選を行います。
特賞・A賞当選の方を除き応募商品の指定はできません。
- 特賞・A賞の当選者さまには、当選のご連絡と商品のお申込みにかかるご案内を
応募いただいたご住所あてに郵送させていただきます。
- B賞・C賞の当選発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。



JAバンク 北海道
<http://www.jabank-hokkaido.or.jp>

クロスワードクイズ

提供元:クロスワード.jp

1		2		3		4	5
	C						A
				6			
	7					8	
9				10	11		
			12	E			13
14		15			16	17	
				18			
19	B					20	D

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

【タテのカギ】

- 1 囲み。骨組み。物の周りを取り囲む線。
- 2 微細な粒。
- 3 研磨剤・洗剤などをまぜて作った、みがき粉。
- 4 普通の開花時期より早く咲くこと。また、早く咲く品種。
- 5 鉄道の線路。カーテンなどを円滑に走らせるための溝のついた鋼材。
- 7 物事がはやく進むように働きかけること。
- 11 ナラ、クリなどの枯れ木に生える食用きのこ。外面は褐色。肉は白色。
- 12 まっすぐで細長く手に持てるぐらいのもの。
- 13 封筒・容器・出入口などを閉じてふさぐこと。
- 14 市が運営すること。
- 15 一年のうち、九番目の月。
- 17 最も軽い気体。燃えると酸素と結びついて水になる。
- 18 どうすればいいかを考え、物事をうまくやっていく頭のはたらき。

【ヨコのカギ】

- 1 腕の力。
- 4 空にくもの少ない状態。
- 6 英語で余暇のこと。〇〇〇〇施設、〇〇〇〇シート。
- 7 どうすればよいかについて話し合ったり、他の人に意見を聞いたりすること。
- 8 細長くそいだ竹などを編んで作った底の浅い容器。
- 9 まっさらで何も書かれていない紙。契約などが最初の状態になること。
- 10 たたみを敷いた場所や部屋。
- 12 英語で男の子。少年。
- 14 空気などの気体がまったくない空間。空気を抜くこと。
- 16 数が多いこと。〇〇↔少数。
- 18 土地の形。
- 19 昔からずっと人から人へ、言葉で伝えてきたこと。
- 20 おばあちゃん。

4月号の正解は

「ウグイス」でした。

正解者の中から抽選で3名が選ばれました。

深 川 市 上田美代子 様
深 川 市 松原 郁子 様
旭 川 市 小谷 正美 様

応募方法

正解者の中から抽選で3名様に農協全国商品券をプレゼント。ホームページ応募フォーム・ハガキ・FAXで①クイズの答え②住所、氏名、年齢③身近な出来事④農協だよりに対するご意見ご要望を記入の上応募下さい。

締切6月30日消印有効で当選者とクイズの答えは令和7年8月号に掲載します。

【送り先】〒074-0015 深川市深川町字メム10号線山3線5850番地

JAきたそらち農業振興部営農企画課

FAXの場合は 0164-22-1228

【ホームページ応募フォーム】URL: https://www.ja-kitasorachi.com/living/application_form/

※ご本人以外による応募は抽選の対象外とさせていただきます。



五月俳句

●雨電俳句会

夫婦なる二人を祝福春の雪
旅立ちはまず春泥に靴落とす
制服の袖は長めの新入生
箆笥発音空行きの春シヨール
花祭り音楽聞くや寺参り
通学の子に新顔あり四月
雪解道杖の代わりにスコップを

●「道」俳句会 北電支部

朝まだき生業の風木の根開く
夢のごと種を催芽の六十年
競い合う素振りもまだなし鳥の子
咲くも好し散るも様なる桜かな
バスツアー旅の終わりの花の雲
背なで聞く小言の味や露の臺

●土筆俳句会

白鳥の晨の天にこゑまける
存へて山椒魚に会いに行く
男の子といふ期待もあるや鯉のぼり
残雪の型に占う作柄良
郡外れ孤高貫き鳥帰る
昭和の日好物供え妣の誕
ゴンドラのゆらりと上がり若葉風
ステーキで退院祝い風光る
雁帰る裏の田んぼは風の道

高尾美津子
池田 美知
南川富美子
佐藤英三子
滝口富美子
菅原 優子
森田裕美子
沼田留美子
小橋 厚子

山本 玲子
山岸 正俊
吉尾 広子
山下 好晴
佐藤美智子
阿部れい子

北川 満江
小山 邦男
佐々木待子
竹原 美裕
松木 五月
宮武めぐみ
吉見サヨ子

第4回理事会〈令和7年4月8日開催〉以下の事項について決議・承認されました

1. 関係団体等諸会議について

- 議案第1号 会長、組合長、専務、常務の選任について
 議案第2号 代表理事の選任について
 議案第3号 地区代表理事の選任について
 議案第4号 委員会委員の構成について
 議案第5号 理事の順位の決定について
 議案第6号 理事報酬額及び支給方法の決定について
 議案第7号 退任役員に対する役員退職慰労金の支給について
 議案第8号 常勤理事の事務引継に係る立会人の指名について

- 議案第9号 役員と組合との取引基準について
 議案第10号 総代選挙各管理者、立会人等の決定について
 議案第11号 行政庁への業務報告書の提出について
 議案第12号 職員就業規則・準職員就業規則・パート職員就業規則の改正について
 議案第13号 貸出金の貸付について
 議案第14号 理事者に対する貸出承認について

第5回理事会〈令和7年5月8日開催〉以下の事項について決議・承認されました

1. 関係団体等諸会議について
 2. 内部監査報告について
 3. 組合員の加入脱退について
 4. 財務報告及び事業実績について
 5. JAきたそらち災害対策組織図及び緊急時連絡先について
 6. 固定資産の取得・修繕について
 7. JAバンク基本方針に基づくJA財務モニタリングの報告について
 8. 職員の人事及び業務事故について
 9. 貸出金の貸付報告について
 10. クミカン貸越極度額の設定について
 11. JAネットバンク不正送金にかかる補償について
 12. 令和7年度 JAバンク経営戦略シートの策定について

13. 令和7年産米の「生産の目安」の取組状況について
 14. R6補正 麦・大豆生産技術向上事業 採択結果について
 15. A-ERW開発プロジェクト試験報告について
 16. 令和7年度 広報体制と情報発信の協力について
 17. 令和7年度 組合員巡回体制について
 18. 令和7年産米の「生産の目安」の追加設定について
 19. 令和7年3月 営農懇談会意見・質問報告について
 20. 米在庫状況（3月末）について
 21. 畜産物の販売実績（3月末）について
 22. 令和7年度 青果・花き集荷販売実績について
 23. 経済部事業実績について

- 議案第1号 出資金の持分譲渡について
 議案第2号 固定資産の取得について
 議案第3号 信用事業及び財産の状況に関する説明書類の縦覧について
 議案第4号 財務管理規程の一部変更について
 議案第5号 クミカン貸越極度額の変更について

- 議案第6号 貸出金の貸付について
 議案第7号 理事に対する貸出承認について

組合員の動き (令和7年4月末日)

		当期首	加入	脱退	当月末
正組合員	個人	1,156	13	14	1,155
	団体	110	2	0	112
准組合員	個人	5,326	22	21	5,327
	団体	261	0	1	260
正組合員戸数		818	1	2	817

1. 令和7年産 米の取扱いについて
 2. 令和7年産 玄そばの取扱いについて
 3. 令和7年産 農産物予約前渡金及び概算金について

JAフルスペックローン Limited edition

JAきたそらち独自！

右記の借入条件
を満たすと

年**0.95%**

【令和7年5月1日現在の
店頭貸出利率：年3.40%】

《借入条件》

実施期間	・令和7年4月～令和7年12月
借入者	・同一人による借入は各事業年度に1回限り
借入金額	・100万円以上300万円以内（1万円単位）
借入期間	・5年以内
利子補給	・借入日から完済予定日まで
借入金利	・固定金利
保証料率	・別途保証料がかかる場合がございます。

さらに

JA経由の
購入で！

年**0.20%**

 **JAきたそらち** 詳しくは、お気軽にお問い合わせ下さい！

本所 TEL 0164-34-7150 雨竜支所 TEL 0125-77-2331 北竜支所 TEL 0164-34-2280 幌加内支所 TEL 0165-35-2024

■発行／きたそらち農業協同組合 〒074-0015 北海道深川市深川町字メム10号線山3線5850番地 TEL 0164 (22) 6600 FAX 0164 (22) 8611
<https://www.ja-kitasorachi.com> ■編集／農業振興部 営農企画課 ■印刷／株式会社 須田製版